

若手育成・男女共同参画合同ワークショップ

日 時：6月18日（金）大会3日目 12時40分-13時40分

Zoom 開催、Channel 1

世話人：若手育成・男女共同参画理事、男女共同参画ワーキンググループ

司 会：伏信 進矢（東京大学）、光武 亜代理（明治大学）

趣 旨：

いろいろな就業形態はありますが、夫婦共働きの世帯は1980年から年々増加傾向にあり、2015年には約6割を占めるようになりました。1999年以降は、共働き世帯が専業主婦世帯を上回っています。研究者の中にも、共働きの家庭が増えたと皆さん実感されていると思います。いろいろな働き方の形態が増えています。30代、40代は研究に集中できる時期ではありますが、子育ての時期でもあり、ライフワークバランスをとりながらどうキャリアパスを構築していくか模索が続きます。

本ワークショップでは、「子育て」、「共働き」をキーワードに、子育てをしながら教育・研究に奮闘されている4人の共働きの若手研究者の方にそれぞれの働き方のスタイルや、これまでの経験、ノウハウなどをご紹介します。いろいろな働き方の若手研究者が能力を発揮できる環境やサポート体制を模索できたらと思います。若い方に今後の参考になればと思います。また、すでに経験された方やグループのPIの方もご参加いただき、是非アドバイスを頂ければと思います。

話題提供1「チーム・研究者の育児 Tips」

河合 文啓（山形大学・研究員）& 河合 寿子（山形大学・助教）

私たちは夫婦共に研究に従事しながら、2歳と6歳の子供を育てています。「保育園行事や予防接種、そして避けられない子供の体調不良」vs「講義や無限に湧き出る締め切り、そして実験！」の怒涛の日々を、どうやって二人で乗り越えているのかについてご紹介します。

話題提供2「兼業主夫研究者の育児・研究記」

杉田 昌岳（東京工業大学・特任助教）

非研究者の妻・2歳の息子を持つ男性研究者（情報系）がどのようなことを考え、実践しながら子育てと研究を両立？しているかをご紹介します。

話題提供3「バイアウト・アウトソースについて考えよう」

谷中 冴子（分子科学研究所・助教）

1人の人間に与えられた時間とこなせるタスクのキャパシティーは限られています。その中で、研究や教育を推進していくには、時間と労力の配分を考える必要があります。家庭においても仕事においてもバイアウトやアウトソースの考え方を持ち込むことが必須であると考えます。個人でできることだけでなく、PIや所属機関ができること等広くディスカッションしたいと思います。

質疑応答・総合討論

話題提供の後、お話の内容に関する質疑応答、総合討論を行います。